TOKYU SNOW RESORT

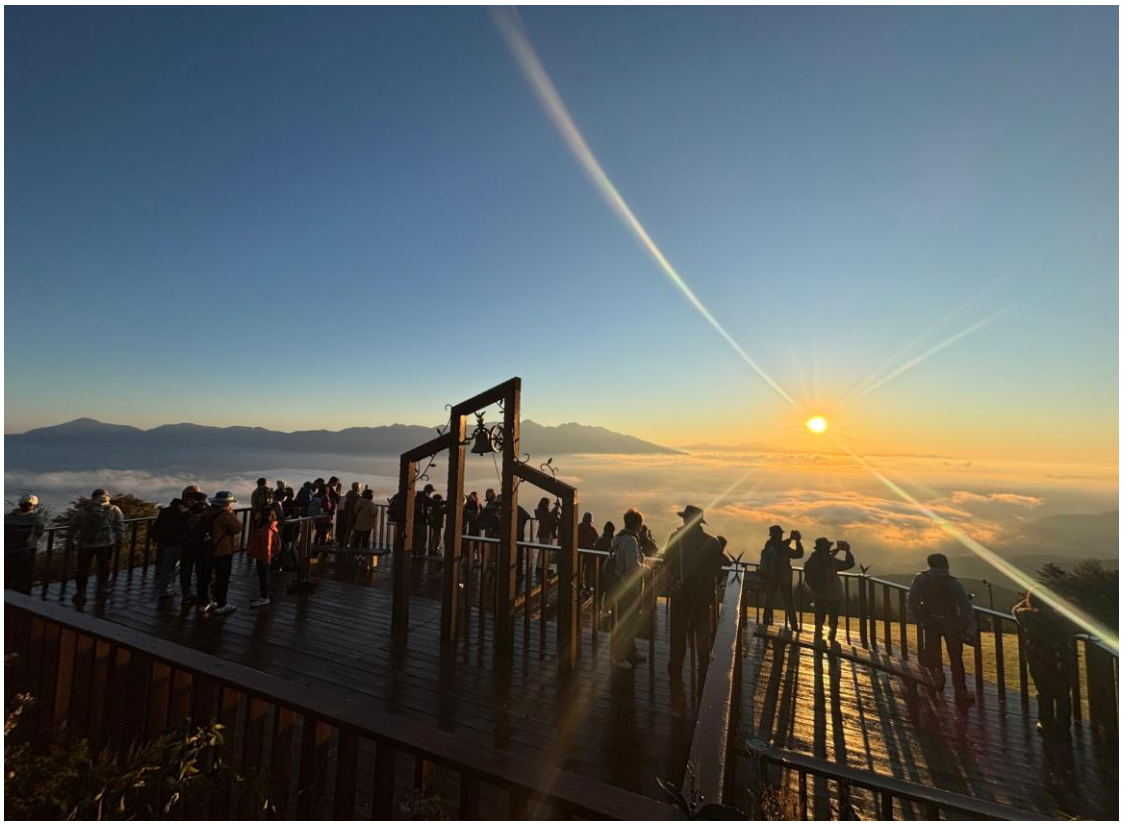
PANORAMA
富士見パノラマリゾート

(2025)

安 全 報 告 書

富士見パノラマリゾート

富士見パノラマスキー場第1ペアリフト
富士見パノラマスキー場第2ペアリフト
富士見パノラマスキー場第4ペアリフト
富士見パノラマスキー場第5ペアリフト
富士見パノラマスキー場第6ペアリフト
富士見パノラマスキー場ゴンドラリフト



一般社団法人　富士見パノラマリゾート

１．利用者の皆様へ

日頃より、富士見パノラマリゾートをご利用いただき、また弊社索道事業に対しご理解を頂き誠に有難うございます。

弊社は、スキー事業理念において【お客様の安全確保】を第一に掲げ、各索道設備における点検整備の実施・強化、法令遵守の徹底など、安全輸送に最大限努めております。

2024年度につきましては、ラニーニャ現象の影響により、人工降雪も順調に進み、良好なゲレンデコンディションにより、多くのお客様にご利用いただきました。

今後も、お客様に安心してご利用いただく為、安全かつ清潔な施設整備をはじめ、さらなる上質なサービスを提供して、存分にお楽しみいただけますよう、全職員一丸となり努力いたしてまいります。

本報告書は鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための取組みや安全の実態について、自ら振り返るとともに広くご理解をいただくために公表するものです。みなさまからの声を、さらなる輸送の安全に役立てたく積極的なご意見を頂戴できれば幸いでございます。

一般社団法人 富士見パノラマリゾート
理事長　　渡辺　豪

２．安全基本方針

当社のスキー場事業理念の第一は安全確保です。「安全基本方針」を次のように掲げ、理事長以下従業員全員に周知、徹底しております。

1）全ての索道施設に携わる者は、輸送の安全確保に努めること。
2）輸送の安全に関する運転細則及び整備細則、関連する規定（本規定を含む。）をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正かつ忠実に職務を遂行すること。
3）常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めること。
4）職務の実施に当たり、推測に頼らず確認の励行に努め、不安のある時及び危険を感じた時は最も安全と思われる取扱をいたします。
5）事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとります。
6）情報は常に漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保します。
7）常に輸送の安全第一の意識をもって行動します。

３．索道運転事故発生状況

1）索道運転事故
2024年度は、国土交通省への索道運転事故、人身事故の報告はありません。

2）災害（地震・暴風・豪雪など）
2024年度は、災害による運行停止はありません。尚、雷や強風による運行停止は、安全確保のため状況により実施いたしました。

3）インシデント（事故の前兆）
2024年度は、国土交通省へのインシデント報告はありません。

4．安全確保の為の取組

1）安全重点施策

当社では、安全重点施策として年間、中期、長期の整備計画を作成しています。

2024年度の主要整備実施項目　　OH⇔オーバーホール

第1ペアリフト	通常整備、握索機OH（通常用60台、MTB搬器用30台） 折返し滑車振れ止めホース更新
第2ペアリフト	原動設備整備工事、原動滑車振れ止めホース交換、緊張索交換、通常整備
第4ペアリフト	通常整備、握索機OH（通常用126台、MTB搬器用50台）、脱索検出器一部更新
第5ペアリフト	通常整備
第6ペアリフト	通常整備
ゴンドラリフト	握索機OH、索受整備（21、22、23号支柱）、脱索検出器一部更新 山麓受変電設備高圧フィルタ盤電磁接触器更新 山頂受配電設備変圧器更新、押送装置OH、発車間隔検出器架台更新 押送用プーリー部更新、制動機圧力SW更新 制動ユニット圧力スイッチ更新、山麓受電盤FAN交換、通常整備

通常整備：全支柱点検整備・握索機点検・機械装置整備点検

2025年度の主要整備計画項目　　OH⇔オーバーホール

第1ペアリフト	通常整備、緊張索交換
第2ペアリフト	通常整備
第4ペアリフト	通常整備、緊張索交換
第5ペアリフト	通常整備、握索機OH（84台）、操作スタンド更新、振れ止めゴムホース更新
第6ペアリフト	通常整備、握索機OH（60台）、操作スタンド更新
ゴンドラリフト	握索機OH、山麓山頂低圧フィルタ盤・DB盤電磁接触器更新 支柱受索装置整備（15支柱）ピン・ブッシュ・索受フレーム交換 押送用プーリー部更新、押送装置OH、原動滑車ゴムライナ更新 場内用索輪ホイール更新、通常整備

通常整備 ：全支柱点検整備・握索機点検・機械装置整備点検

2）人材教育

当社では、輸送並びにお客様の安全確保に役立つよう、シーズン営業開始前及び営業期間中について、職員または経験者の指導による施設の仕様、リフト運行取扱についての安全教育を実施しています。また、社内外の勉強会、研修により技術力向上に取組んでおります。

＊令和6年度　索道技術研修会　（北陸信越山岳観光索道協会）　4月9、10、11日　1名
＊フルハーネス型墜落制止用器具特別教育　（PEO建機）　4月23日　1名
＊2024年度東急スノーリゾート索道技術管理員研修会　（東急リゾーツ＆ステイ）　5月29、30、31日
＊NCテクニカルセミナー電気初級、中級（日本ケーブル）　6月3、4、5、6、7日　1名
＊2024年度東急スノーリゾート索道技術管理者会議、ゲレンデ安全管理会議
（東急リゾーツ＆ステイ）　6月19、20日　3名
＊スノーメイキングクリニック講習　（スノーシステムズ）　7月9日　4名
＊北陸信越山岳観光索道協会長野地区部会索道技術研修会　（長野県索道事業者協議会）　7月11日　3名
＊令和6年度　索道技術管理者研修会　（北陸信越運輸局）　10月3、4日　2名
＊長野県索道事業者協議会事故防止研修会　（長野県索道事業者協議会）　11月6日　2名
＊グループスキー場索道社内検査　（東急リゾーツ＆ステイ）　11月12、13、14、15日　1名
＊赤十字ベーシックライフサポーター　（日本赤十字社）　11月17日　2名
＊赤十字ファーストエイドプロバイダー　（日本赤十字社）　11月23、24日　2名
＊安全対策講習会　（諏訪地区スキー場警察連絡協議会）　12月5日　1名
＊スキーパトロール救助研修　（自社）　12月12、13日　8名
＊諏訪地区スキー場安全対策現地調査　（諏訪地区観光安全対策推進会議）　2月7日　3名
＊グループスキー場　外部監査　監査員として　（東急リゾーツ＆ステイ）　2月26、27日　1名
＊長野県公認パトロール検定B単位　（長野県スキー連盟）　3月11日　1名
＊SAJ公認パトロール研修会　（全日本スキー連盟）　3月11日　1名
＊安全衛生委員会　各月、安全対策委員会　年2回（自社スキー場事業部）

【安全統括管理者訓示】

【勤務前研修】

【研修受講写真】

【研修受講写真】

3）訓練

毎年シーズン前及びシーズン中にリフトや設備の取扱いの教育、救助訓練を実施しています。

教育・救助訓練実施状況

＊ゴンドラ救助訓練　実救助訓練　４回　　＊教育訓練等　6回

＊予備エンジン発電機切替救助訓練　11回　　＊ペアリフト救助訓練　5回

＊ゴンドラ合同救助訓練（諏訪広域消防本部、茅野警察署）4月22日　56名参加、12月10日　47名参加

【夏季シーズン前　救助訓練】

【夏季シーズン前　救助訓練】

【冬季シーズン前　救助訓練】

【冬季シーズン前　消防警察合同救助訓練】

4）安全向上への積極的な取組

＊監視カメラの設置

利用者の安全確保のためゴンドラリフトの乗降場に監視カメラを設置しています。

＊気象情報の収集

外部気象会社より情報を取得し自然災害や異常気象時の索道運転事故防止に努めています。

＊接客マナーの向上

索道業務マニュアルの細部を見直し業界No.1の接客を目指します。

＊滑走時のヘルメット着用の啓発

お客様、スタッフへのヘルメットの着用の推奨を行っております。

5）自然災害への対策

当社では、甚大化しつつある自然災害に対して事前の予防策を実施すると共に、緊急事態の対応策を整備して、スタッフの教育・訓練に努めています。また、集中豪雨や落雷等の異常気象に備えて気象専門会社より情報提供を受け、事故防止対策を取っています。

6）衛生管理の徹底

当社では、感染予防の対策をはじめとし各所の定期清掃や消毒等の衛生環境の保全に努め、更にスタッフの衛生管理の徹底を行っています。

7）事業所の監査の実施

社内及びグループ事業所の協力により相互において安全管理の実施状況確認と見直し・改善を毎シーズン行っています。

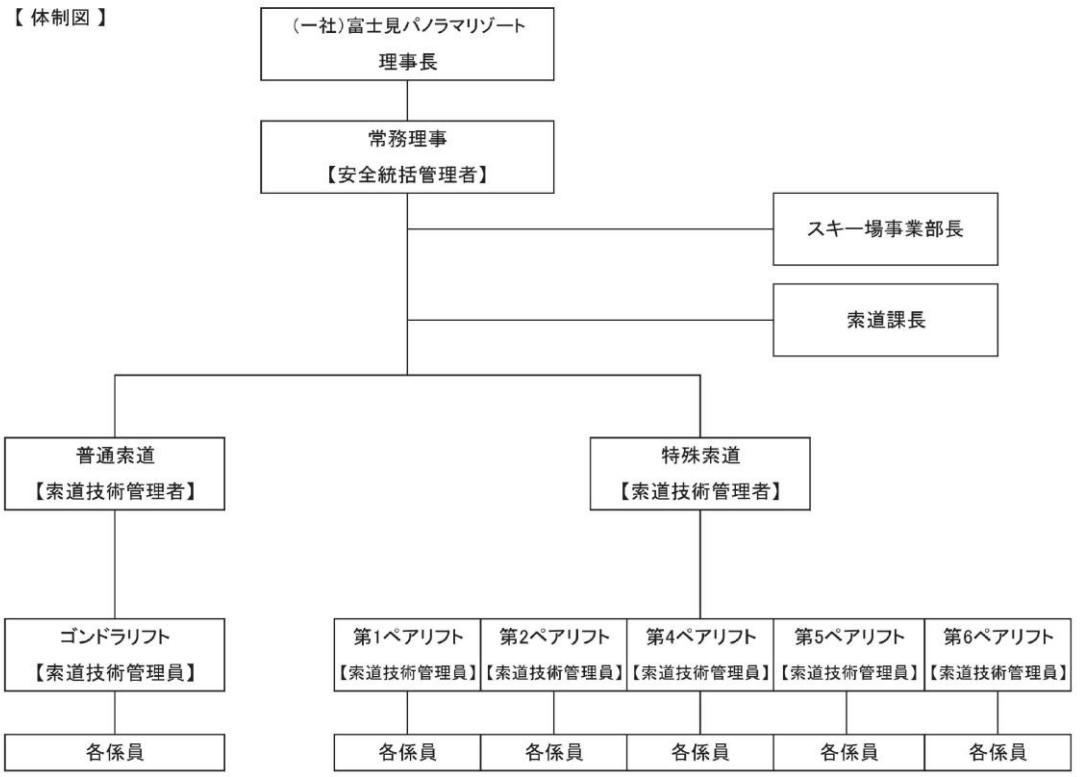
5．安全管理体制図

2021年2月1日の鉄道事業法施行規則の一部改正に伴い、2021年2月に「安全管理規程」を改正し、理事長をトップとする安全管理体制を構築しております。

この組織の中でそれぞれの責務を明確にした上で安全確保に努めております。尚、各管理者の役割は下記の通りです。

理事長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
安全統括管理者	索道事業の輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
索道技術管理者	安全統括管理者の指揮の下、索道の運行の管理、索道施設の保守の管理、その他の技術上の事項に関する業務を統括管理する。
索道技術管理員	索道技術管理者の指揮の下、担当する索道の運行の管理、索道施設の保守の管理、その他の技術上の事項に関する業務を管理する。

【 体制図 】



6．終わりに

安全管理規程に則り、安全の確保を第一に掲げ努力してまいりました。これを踏まえ来シーズンもお客様が安全・安心・快適にご利用いただけます様、設備の充実、整備、運行管理等を実施し、安全で快適な索道運行を目指し、さらなる安全管理の向上を図って参ります。この報告書を2024年度の安全報告書とさせていただきます。